

授業科目名	運動器疾患の患者の看護	担当者	福田 真紀子
単位	—		
時間数	8時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	後期
授業の到達目標	疾患、病態を把握し、日常生活の援助と診療時の補助技術について学ぶ。経過別看護を理解し、援助技術を学ぶ。		
授業の概要	運動器疾患の看護は、患者の日常生活動作(ADL)を向上・拡大する役割をもっており、生活や人生の質に大きく影響する。そのため、対象となる患者がライフサイクルで直面する健康問題や発達課題を把握して看護を行う必要がある。その方法について学ぶ。		
授業計画	<p>患者の看護</p> <p>A.共通する看護(経過別、身体的援助)</p> <p>B.症状に対する看護</p> <p>C.診察・検査を受ける患者の看護</p> <p>D.治療・処置を受ける患者の看護</p> <p>E.運動器疾患患者の看護</p>		
テキスト	新看護学10 成人看護[2] 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験 100点		